

愛知スキー協通信 No.351

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2024年5月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：イエティー スキークラブ

スキーシーズンは、あとすこし何を大切に どう過ごしますか？



(これからやってくる長いシーズンオフをまえにして)

文責 愛知スキー協理事長・技術部員兼任・競技部員兼任 寺田 康男

一番に大切にしたいのは、個々が「今」スキー協を楽しめているか？です。

付随して、クラブ = ^{イコール}スキー協は、変わらず存続？だけと拡大している？それとも、縮小傾向？

- ① スキーができれば 楽しいのかな・・・回数？ 中味は？ スキーしないクラブ員の存在は？
- ② 上達するから嬉しいのかな・・・ 努力する頻度は？ ヘタでも雰囲気しだい？
- ③ 付随する人間関係がたのしいのかな・・・ 気の合う人が多いから？ 問題解決も経験へ

楽しくても、そうでなくても、クラブ行事や運営は通常どおりにあり、実行され一定の参加者で成立してきたから今もクラブはあります。ありがちなのが全員に、自身の主体性は無くても、クラブの役割分担として誘導してくれる者が決まっていればクラブとして成り立ってしまいます。

ブロック行事や県行事でクラブ行動が置き換わっていても、スポーツをどうしての人的交流が個々に選ぶことができる状態であるから、参加は惰性であっても、それが、習慣で生活の一部なら主体性と自由観を伴う楽しさと思えます。

ありがちなのが、ブロック行事や県行事に、参加したいからクラブに席があるひとは以外と多いことの重大性です。 これを読んであなたは何を感じましたか？



「未来の」クラブ構成を想像して 老化を伴う変化をどうしたいの？

- ① 今を考えて、近い将来・来年は どうなると思いますか？ スキーの楽しさ面で考えると
・まさか、全員が向上心を持ち続けて いる訳はないはずです。
- ② 筋力も 向上心も バランス感覚と能力も それをたもつ脳力も 技術面で考えると
・巧くなっているのが、自身も、他人の眼からも明らかな人と 変化しない人の存在です。
- ③ 組織面で考えると

- ・流れにまかせる・抵抗しない・今居るメンバーを優先する・クラブ観のクラブか？
- ・変えていく・みんなで・考えて・抵抗したいクラブ観のクラブを育てるか？

役員会議では、上記問題点を役員一人ひとりが、自分の考えとして答えを持っていて欲しくて、理事長の意見として発言しています。(寺田康男)



2024 年全国スキー協公認セッター養成検定会/研修会&テストラン

4月6~7日 野沢温泉スキー場(小毛無ゲレンデ) (敬称略) セットの様子

4月の第2週が今までの予定でした。昨年は雪不足で中止でした。今年もその予定のつもりでしたが、第1週になっていました。そのことに後で気づいて、第2週ならテストランに参加できる人がいましたが、参加できませんでした。昨年中止のため今年研修に参加しないと資格が有効になりません。



愛知から寺田康平、澤田知希、澤田安利が参加しました。三宅秀和はスキー協のセッター資格を返上しますが SAJ のセッターであり、東海ブロックの行事には積極的に協力してくれます。テストランに安藤洋子、寺田康男が参加しました。康男はテストランを意義あるものにするため、硫安を撒くなどのためもあって参加しました。因みに一昨年安利は、研修会でなく、硫安を撒くなどバーンコントロールをするためにテストランで参加しました。フリーで富田孝子さんが参加しました。愛知から車2台6名参加でした。他に事務局1名全国競技部長、研修2名検定1名(セッターの経験はありませんが競技経験がありよいセットをし、ペーパーもOKで合格しました)テストラン1名で12名でした。つまり愛知が半分です。きちんと資格のあるセッターは全国で6名ということになります。

硫安撒きさすがでした

5日澤田車安利土岐で安藤・富田合流10時ごろ「山ぼうし」到着寺田車康平・康男・澤田知希6日1時過ぎ到着6日7時30分朝食8時45分宿出発(実質は30分)小毛無ゲレンデに到着後10時~12時開校式からセットの養成研修・テストラン。GSのセット(康男が中心に硫安撒く)をしてみんなで滑る。1本滑ったらセッターを変えてセットし滑る。セットも早いので余裕があり2本滑ることもあり。養成検定者安田浩之転倒し少しけがをした模様。12時昼食13時から1本行い、検定のセットをする。まずまずのセットであった。14時すぎ下山。明日の時間を早めるよう提案し実現。16時~18時理論研修、別部屋で要請研修。夕食で宿自慢のどぶろくを堪能しました。



7時朝食8時出発ゴンドラ待ち着いたらすぐ硫安撒きSLセット、テストラン。最後検定。とてもいい条件でできました。愛知勢のセットはさすがでした。全国はあまり硫安を撒きたがりません。環境か安全かの意見の違いでもあります。

愛知県高校生記録会&ユース記録会Ⅲ

一ノ瀬ダイヤモンド 3/25(月)~3/27(水)

26日風が強くりフト動かず大会キャンセル。27日2種目は困難として25日練習したGSのみで行う(予定は26日GS大会のちSL練習)ことに。昨日とは打って変わりよい大会ができました。高校生男子加藤進3位 高校生女子 加藤瑠璃2位 K2男子 榎本藍雅1位とがんばりました。

文責 澤田 安利



のんびり文化に触れる散策でした

深雪スキークラブ 4/14 (日) 名古屋文化のみち～徳川園 散策

参加者 9名

旧豊田佐吉館前

好天に恵まれ、のんびり文化に触れる散策でした。

10時集合に遅れた近藤でしたが、名古屋市政資料館は見るところが多くて待っていてくれました。朝ドラの撮影場所でもあり戦前の重厚な建物です。

そこから、撞木館（しゅもくかん）、1階の和館では、親子への読み聞かせの催しもやっていました。旧豊田佐助邸（発明王豊田佐吉の実弟・豊田紡織社長邸大正時代に建設）。二葉館（女優川上貞奴・電力王福沢桃介の洋館）大正ロマンの建物を見学した後、カフェで食事を取り、徳川園に向かいました。

徳川園では、ボランティアガイドに説明をしてもらい、ゆっくり散策しました。散策後、解散しました。解散後、徳川美術館や蘇山荘などで過ごして帰る人もありました。

身近なところに素敵なおとこ、名古屋城は焼けたのに空襲でも焼け残った街並みがあると思いました。（近藤）

病気だった人、仕事が忙しくて長い期間参加出来なかった人が久しぶりに参加して、「初めまして」との挨拶があり、クラブ員の交流が出来良かったです。また、私は初めての所ばかりで名古屋の中心街にこんな所があるのかと驚きました。（浅井）



徳川園でボランティアガイドの説明を聞く

3月23日 東海ブロック技術部会の報告

野麦峠スキー場で行いました。愛知が4名、岐阜が2名、静岡が1名と、合計7名の参加でした。事前に、今シーズンまでの3年間の研修会テーマ『真下への横滑り』を参考に、後述で説明したポイントを利用し、切り替え時に前に出る練習、小回りにつなげる練習、谷足にのる練習方法などが出されました。夕食後のミーティングでは、雪上で出された指導法や「真下への横滑りの各局面はターンのどこにつながっているのか」などについて話しました。

自分自身は、教程種目技術や今シーズンまでの研修テーマ、特に真下への横滑り左右連続についての理解がまだまだであると感じています。議論を深め、来シーズンは指導員みんなで技術を磨き合っていたら、と思っています。

今回、翌日は行いませんでしたが、4月2日の愛知の技術部会では、2日間やった方がいいという前向きな意見も出ました。また、来年もテーマを決めて行うといい、シーズン初めと終わりの技術部会で教え合う形で行うといい、ビデオを撮るといいなどの意見も出ました。意見を来シーズンに活かしていきたいと思います。

文責：土屋多賀子（直滑降スキークラブ、東海ブロック技術部）

新日本スポーツ連盟愛知県連盟 総会記念講演

愛知スキー協会が所属する新日本スポーツ連盟愛知県連盟では、2024年6月30日（日）に第43回定期総会を行い、総会の前半（午前中）に記念講演を行います。記念講演はどなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

開催日時 6月30日（日）10:00～11:30（記念講演）
場 所 愛知民主会館（名古屋市東区葵1丁目22-26） 2階会議室
講 師 太田義郎氏 全商連（全国商工団体連合会）会長
愛知スキー協会 S.C.直滑降クラブ員（元指導員）

テーマ 高齢者の健康法とスポーツの勧め&インボイスの導入について

- ・80歳になっても若者とともにスキーを滑る… そんな太田さんの健康の秘訣は？
- ・近くにある病院の職員や地域の住民たちとともにラジオ体操を始めています。その呼びかけ方法とは？

・昨年10月から始まったインボイス制度。事業者や個人事業主だけの問題ではありません。私たちの生活にどのような影響があるのでしょうか。

☆ 記念講演は会場又はZ o o mでどなたでも参加できます。愛知スキー協会の e-mail アドレスにご連絡ください。

愛知スキー協会定期総会のお知らせ

愛知スキー協会は7月7日に定期総会を行います。各クラブの代議員は以下の通りです。

ぶな6名 深雪4名 直滑降4名 イエテイ2名 ハダシ2名 サザンクロス1名

他個人会員2名

開催日時 7月7日（日）13:00～16:30

場所 労働会館本館2階中会議室 ※対面形式で行います。

スキーマイト No.203 おすすめ記事

スキー行事の最中に突然鳴り響いた警報音に、スキー場で、もし大きな地震にあったら、と思いをめぐらした方も多かったのではないのでしょうか。私のいた藪原ではそれほど大きな揺れは感じなかったものの、近い距離に位置する能登半島ではたくさんの方が被害に会われたとのこと。犠牲になられた方々に心よりの哀悼の意を表し、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、3月のスキーマイトには山スキーの行事「パウダーフェス in 柵池&戸隠」が大きく取り上げられています。カメラマンの関谷義孝さんもパウダースキーのグループに自身が参加し、写真をたくさん撮って、ネイチャースキー、パウダースキーの楽しさを伝えてくれました。

他に2月に行われた全国スキースノーボード競技大会で練習会コーチ、セッターとして参加し、ワードカップでも実況中継のコメンテーターとして活躍している清澤恵美子さんの講演が載っています。若い競技者がこれから続けていく上で大変参考になる内容だと思います。

スキーマイトを読みたい方は、各クラブ代表者、スキー協理事にお申し込みください。年5回発行、年間2000円(送料込み)ですが、初年度はサービスで半額となり年間1000円で購入できます。文責安藤洋子

スキーマイト代金振り込み先 三菱UFJ銀行 金山支店 普通口座番号 0610460